

## 第2回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 平成29年5月24日(水曜日)  
午前10時00分から午前11時30分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎4階会議室
- ・ 出席委員 小泉克行教育長、藤本政一教育長職務代理者、  
中村順一郎委員、天野ますか委員、野尻正人委員、  
庄司有紀委員
- ・ 出席職員 井上教育次長、小俣学校教育課長、小林社会教育課長
- ・ 傍聴人 な し

### 〔会 議〕

#### 1 開会

##### 【教育長開会宣言】

#### 2 会議録の承認

職員が、平成29年度第1回定例会会議録を朗読し承認される。

#### 3 教育委員会報告

教育長から、平成29年4月21日から平成29年5月24日までの教育委員会活動が報告された。

#### 4 議 事

議案第5号 就学指定学校変更・区域外就学について

( 非公開 )

〔説明〕 土橋こどもの学び支援担当リーダー

##### 【原案どおり決定】

議案第6号 教育委員会点検評価について

〔説明〕 小俣学校教育課長・小林社会教育課長

#### 小俣学校教育課長

教育委員会点検評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、「教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表する」と定められています。平成28年度の点検評価について、ご審議をお願いします。

評価はAからDの4段階評価で行っております。それでは、前年度と変更になっている評価項目を中心に説明をさせていただきます。教育委員会と事務局との連携の項目は、前年度B評価からA評価にいたしました。次に、教育予算その他議会の議決を得るべき議案の原案を決定する項目もBからA評価としました。

次に、学校教育課ですが、確かな学力の育成の項目は、昨年、天野委員や小泉教育長から、テストの点だけでなく、取り組みを評価することも大切なのでA評価にしても良いのではというご意見をいただきましたが、取り組んだ結果が出なかったということから、当年度もB評価にいたしました。豊かな心・たくましい心の充実の中の、道徳・文化活動、読書活動等の推進の項目は、AからB評価としました。根拠は、前年度はやまびこ支援学校との合同音楽発表会を行いました。当年度はやまびこ支援学校との合同発表会が出来ず、次年度に向けて協議を重ね、実施する方向となりましたが、実施出来ない状況だったのでB評価としました。なお、ふるさと教育の推進の根拠に、教育支援室の連携会議を組織して、小中学校との連携を図ってきたこと、コミュニティ・スクールの導入の推進事業に着手し、推進委員会を組織し、学校と地域の連携の在り方等について研究、先進地視察等を行ったことの2件を追記させていただきたいと思っております。

#### 小林社会教育課長

社会教育課ですが、文化財の指定し、又は文化財の指定を解除する項目は、前年度B評価ですが、平成28年5月に鳥沢金山古墳出土品を指定し、7月に間明野のエノキの指定を解除したため、当年度の評価はAとしました。

生涯スポーツの振興の中の施設の整備の項目は、評価がBからCになっています。根拠は、各施設が老朽化をしていて、勤労青年センターも老朽化していますが、今後の計画等が進んでいないからです。

#### 野尻委員

先ほどの合同音楽発表会の件ですが、当年度にやまびこ支援学校が参加できなかったことは私も残念に思います。しかし、この項目に関しては、今まで小中学校別々だったのが、一緒に音楽発表会を出来る機会が得られたので、やまびこ支援学校と合同でできなかったことだけを見てマイナスにしなくてもいいと思いました。

#### 中村委員

評価はこのままでも良いと思っております。

小俣学校教育課長

この項目全体を見る中で、次年度に向けて先生方が、合同発表会を実施する方向で、協議を重ねてきたことでもありますので、Aとしてもよろしいでしょうか。

中村委員

社会教育の図書館運営の充実がB評価ですが、ここはAにしても良いと思います。努力しているところを全体で見せる意味でも大事なことだと思います。

小俣学校教育課長

本日ご意見をいただきましたが、今後、修正等があれば、6月15日頃までにご連絡をいただき、教育委員会からのご意見を入れて見直したいと思います。修正したものをお送りして、次回の教育委員会で再度ご審議いただきたいと思います。

#### 【継続審議】

### 5 その他

#### (1) 要保護及び準要保護認定について

( 非公開 )

〔説明〕小俣学校教育課長

#### 【了知】

#### (2) 大月家庭塾、大月楽習塾、教員OBリレー講座の実施について

〔説明〕小俣学校教育課長

大月家庭塾「チャレンジ大月っ子」は、家事労働、家庭学習への取組を小中学校が連携して、9年間をとおして市内の全校で行う事業です。

大月楽習塾「大月っ子楽習サロン」は家庭の中で学習に向き合えない子どもへの支援をする事業で、学習の学を楽しいという字にしました。この取組は年間を通して計画しており、現在、教員OBの方にご協力をお願いしています。

また、教員OBによるリレー講座は、教員OBの方の理論と経験を現職の先生に伝達していただく事業です。今年度は7月、10月、2月の3回開催する予定で、7月の第1回目は天野昭先生に講師のご承諾をいただいています。

中村委員

教員OBによるリレー講座は退職された地元の先生が対象ですが、地元の先生以外でも、様々な職種や学校に勤めた先生をお願いしても良いかと思えます。

【了知】

(3) 学力向上フォローアップ事業について

〔説明〕 小俣学校教育課長

今年度も夏休みを利用して、学力向上フォローアップ事業「大月サマースクール」を実施します。市内小中学校7校全校を会場に、対象は小学校3年生から中学校2年生までです。実施日は各学校に決めていただいておりますが、日数は各会場ともに昨年同様の8回を上限にしています。6月の教育委員会では事業の詳細をお伝えできると思います。

【了知】

(4) ICT・外国語科検討委員会について

〔説明〕 小俣学校教育課長

ICT教育については文科省から情報教育の充実や、アクティブ・ラーニングの視点に立った学びを進めるうえで、環境整備を図ることが必要であると示されています。

また、外国語は、新学習指導要領の改定により、平成32年度から小学校5年生、6年生の正式な教科科目になります。こうしたことを踏まえて、大月市における今後のICT教育や外国語科の導入について検討するために委員会を立ち上げました。

両委員会とも5回程度開催する予定であり、第1回は、5月30日（火）午後3時30分から市役所で行います。今後取り組むべき事柄と提言を取りまとめ、大月市としてどのように取り組んでいくかを考えたいと思います。

【了知】

(5) 大月市教育委員会教育委員研修会について

〔説明〕 蔦木学校づくり担当リーダー

市単独での教育委員研修会を行いたいと思います。平成26年度27年度は文化財の視察を行い、28年度は宮谷小学校の文化財の保管庫の見学をしています。本年度は、いかがいたしましょうか。研修内容や場所の希望はありますか。

小泉教育長

「くずはの森」も一つの候補地かと思います。くずはでどのような生活をしているのかを見ることも研修になるかと思います。

次回の教育委員会で検討するという事によろしいでしょうか。

**【了知】**

(6) 社会教育委員の決定について

〔説明〕 小林社会教育課長

社会教育委員については、前回の教育委員会で一部不確定な部分がありましたが、決定しましたので資料のとおり皆様にご報告します。

**【了知】**

(7) わいわい道中について

〔説明〕 小林社会教育課長

夏休み体験教室わいわい道中を7月24日(月)～25日(火)の2日間、1日目は、梁川の月尾根自然の森キャンプ場でキャンプ体験を、宿泊と2日目は大月市民総合体育館でレクレーションを行います。定員は40名で、市内の小学校4年生から6年生を対象としています。

**【了知】**

(8) 平成29年6月21日(水)午前10時から、第3回大月市教育委員会定例会を開催することを確認。

6 閉会

**【教育長閉会宣言】**